

懇談会開催日:令和6年7月29日(月)

地区:厚生

要望・意見内容	市長回答
まちづくりの活動を長年やってきた。町会の活動で精いっぱいでもまちづくりの活動まで手が回らないという声も聞く。これからどの方向を目指してやっていくべきか。	市では伊勢の伝統文化や民俗文化を残していくために、市民活動センターと郷土資料館の再構築の準備を進めている。少子高齢化や人口減少の時代には歴史や文化を残していくことが大切であるので、以前に厚生地区で冊子を作られていたと思うが、地域の伝統や歴史を紡いでいくことも一つの大切な方向性と考えます。
JRと近鉄の線路を南北にまたぐ高架や、線路の下を通るアンダーパスの道路はできないのか。救急車や消防車が困っていると聞く。移動時間短縮になる。	これまでに議論もあった。財政面や技術面での課題もあるが、伊勢市駅の南北間の差は是正していく努力は必要と考えます。宮川橋の架け替えに取り組み、その後の道路事情も見していきたい。
尼辻の交差点を曲がった先の大世古の踏切で、救急車が対向車線に入り、対向車線から反対に渡るときに危険を感じる。また、踏切遮断の時間が長い。	救急車の動線については、運用を改善できるのか相談します。踏切については、JRと近鉄への申し入れも検討させていただきたい。
消火器の代わりにファイヤーショーカスティックの記事が新聞に載っていた。ガスで消火するらしい。耐震設備と併せ、防火設備に対する補助として考えられないか。	今のところは各家庭での消火設備まで踏み込んではいない。特殊詐欺などの防犯を中心に実施している。勉強させていただきたい。
駅前再生ということで、高齢者が近くでお買い物をできるように考えてほしい。また、空き家のほとんどが駐車場になってしまうが、若い人たちを駅前地区に呼べる方法を考えていただきたい。	高齢者の方の買い物や病院への移動については、バスやタクシーのおでかけ乗車券も好評をいただいている。三重交通の路線バスやおかげバスも含めて、移動手段の充実を考えていきたい。
空き家対策をやっているが、空き家を譲る、貸すところがない。古い建物が相続放棄されると手を付けることができないというが、若い人に安く提供してあげられたら良いと思う。条例で何とかできないか。	空き家の活用については、リフォームの補助制度を創設した。空き家は1軒のみだと昔の間口や間取り、駐車場の問題もあるので、複数軒と一緒に動かしていけると活用しやすいと思うが、宅建協会などにも相談させていただく。
厚生お助け隊では買い物や病院への送迎が難しい面があるので、社会福祉協議会にも相談している。団塊世代の活動への参加が減ってきており、若い人にも参加してほしいが、どうしたら参加してもらえるか。	活動への参加については、世代間の距離が出てきていると感じる。まずは名前を知り、顔が見える関係性ができてから、デジタル活用に取り組んでいきたい。参加してもらうためには、楽しい時間の創出、仲間づくりが大切と思う。
まちづくり協議会の活動を長くやってきて、マンネリを感じている。活動する人も高齢化して、固まった意見から抜け出せない。他のまちづくり協議会に、若い人たちが活動する委員会があると聞いた。	高校生が総会の司会や事業の企画をする地区もあると聞いている。市内でも高校生の地域貢献の事例が増えている。高校生が参加できる仕組みもぜひ考えていただきたい。
公民館を建設するため自治会費を値上げしたが、建設費の高騰で厳しい。市の補助金もあるが、補助金額が若干少ないように思う。	検討します。

要望・意見内容	市長回答
災害時の水の確保のため、井戸は掘れないものか。町内の井戸を探してはどうか。	井戸は有効と考えている。井戸のマッピングの情報共有を考えたい。
NTTから厚生小学校までの南北の道路に横断歩道がなく、通行量が多いうえ、高齢者も増加しており、資源ごみステーションに行くのに道を横切るのが危ない。資源ステーションの増設を検討してほしい。	高齢者が多い町にとって、これからのまちづくりは、若い人が多かった時と同じまちづくりではいけないと改めて感じた。警察の件もあるが、市でも相談する。
アカシア落葉の掃除が大変なので、もう少し早く剪定をしてほしい。	樹木の剪定については担当課に伝える。
神路通で飛ばして運転する車が増えている。危険なので、道路に色を付ける等し、通学路であるということを知りやすくしたらどうか。	通学路の件については担当課に伝えます。
ストップマークが歩道に貼ってある。貼り替えを行うために市役所へもらいに行ったが、ストックがあまりないということだった。	必要分をお渡しできればと思うが、確認します。